

ノリ養殖環境速報 KH-02-05 (播磨灘)

令和2年12月9日 調査
令和2年12月10日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、北部沿岸域を中心に低い値となっています。

大型珪藻のコスキノディスクス ワイレシーが北部沿岸域を中心にやや多く確認されましたが、11月の様に大量発生には至らない見込みです。ユーカンピアは確認されませんでした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みの見込みとされており、海域全体の栄養塩濃度は低い値で推移すると想定されます。

・兵庫県の情報:<http://www.hyogo-suigi.jp/>

・岡山県の情報:<https://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

・香川県の情報:<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】令和2年12月22日発行予定

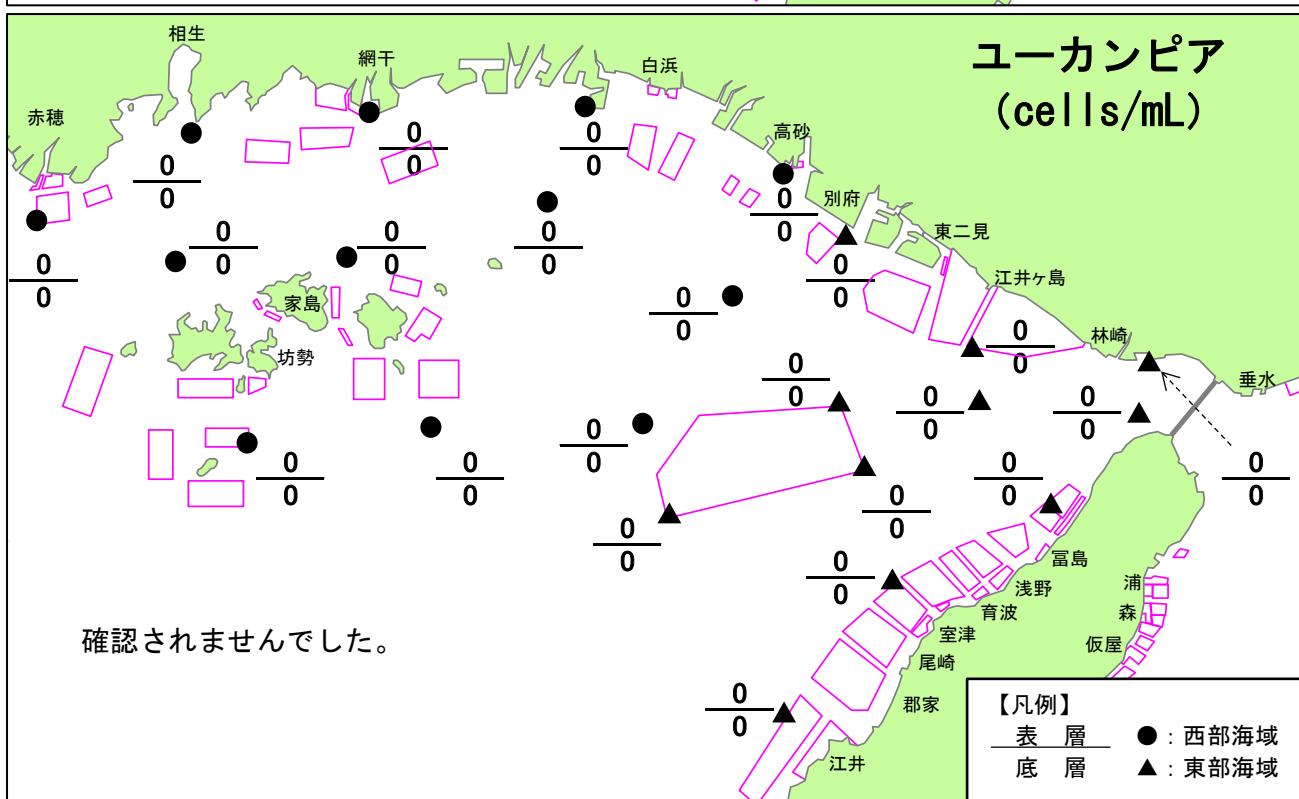
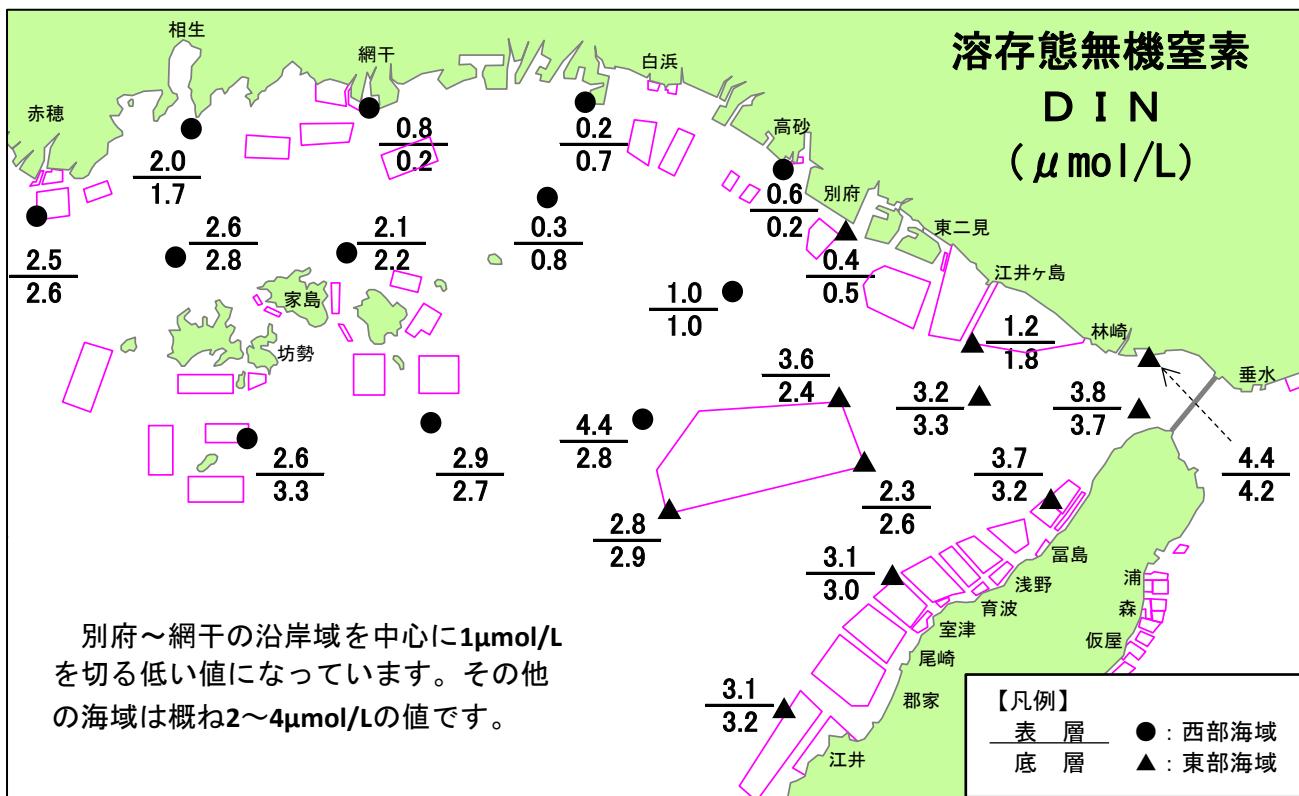
【参考】栄養塩の単位

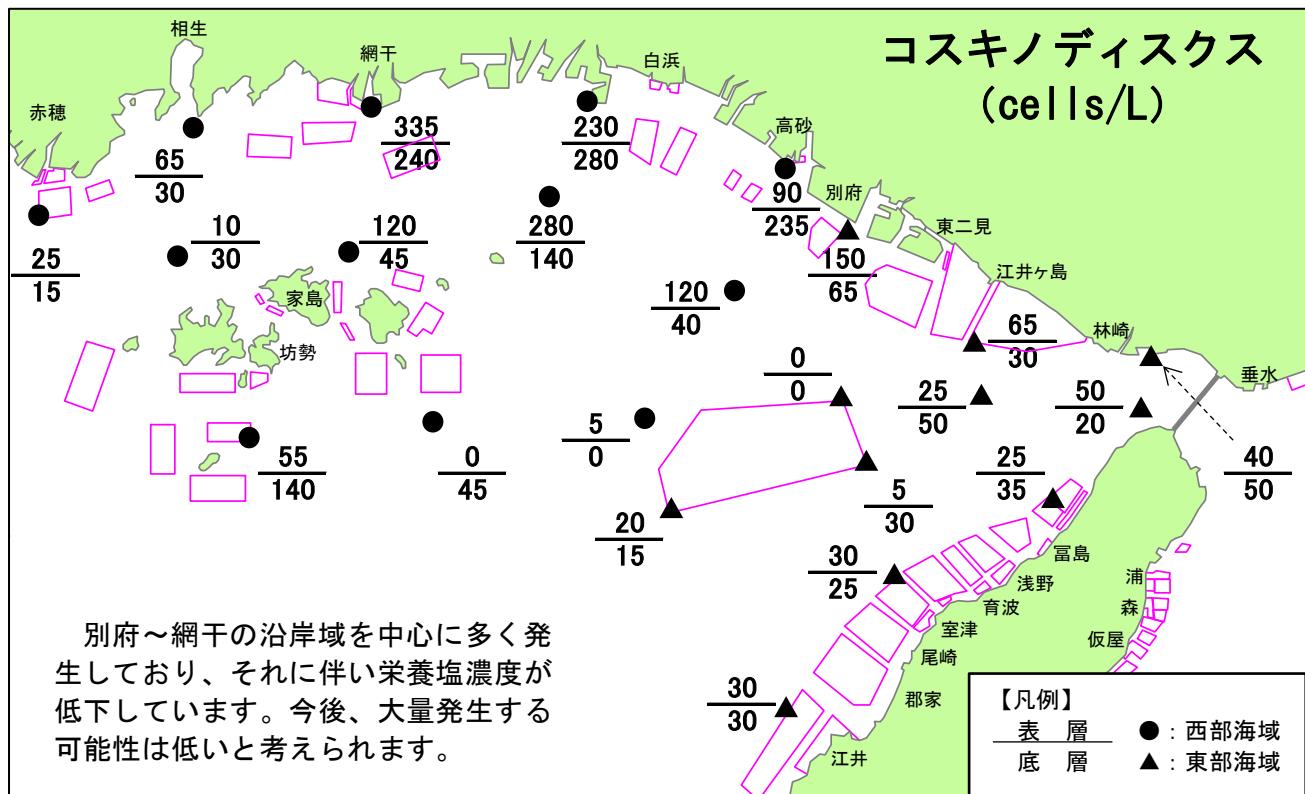
$\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at}/\text{L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

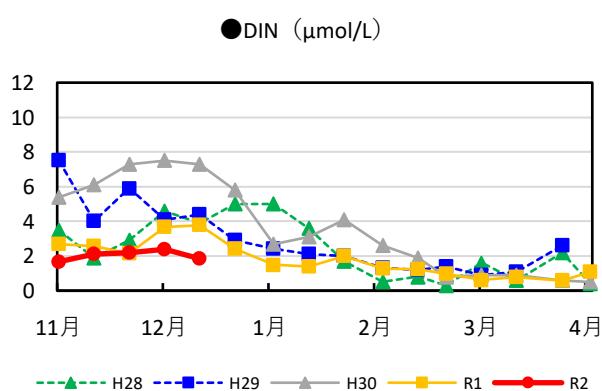
白浜以西: 14.6 ~ 16.0, 家島諸島周辺: 15.7 ~ 17.5, 江井ヶ島・高砂周辺: 15.9 ~ 16.8,

明石海峡付近・西浦: 17.2 ~ 17.7, 鹿ノ瀬周辺: 16.9 ~ 17.3

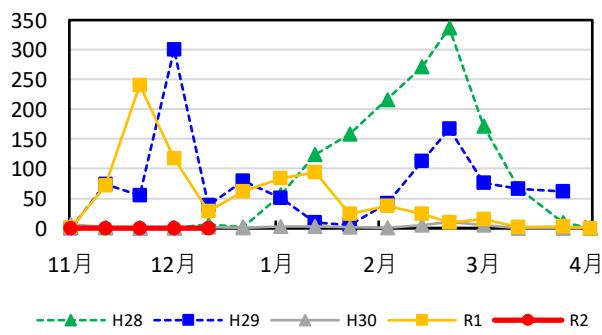




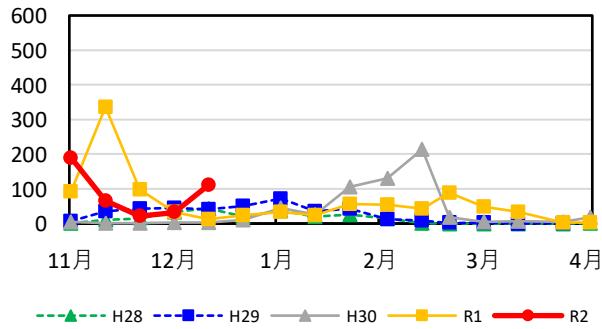
西部(●)12点 表層 平均値



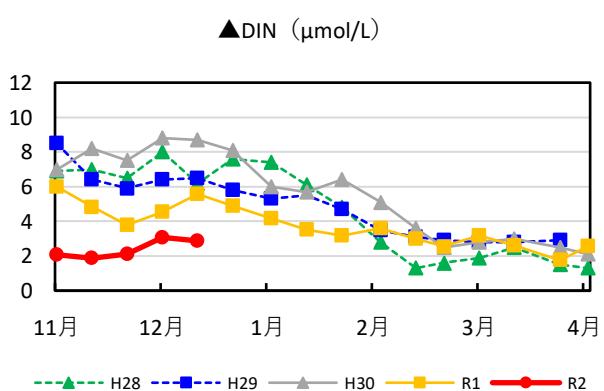
● ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



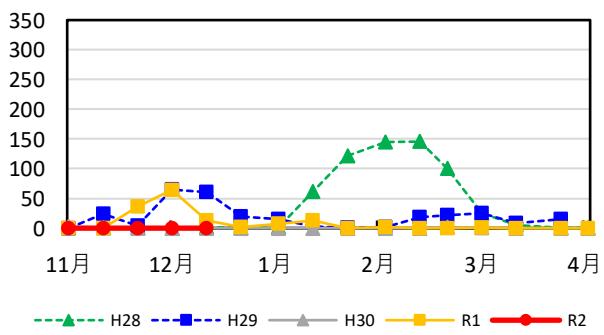
● コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)



東部(▲)11点 表層 平均値



▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

